公立岩瀬病院

Vol.79

いわせほっとニュース

http://www.iwase-hp.jp/　発行日 2017年12月21日

［公立岩瀬病院の基本理念］
患者さん中心の医療を実践し、地域の皆さんに信頼される病院をめざします。

がん撲滅キャンペーン、リレー・フォー・ライフより。
10月7日に第14回病院フェスティバルを開催しました。ご来場いただきありがとうございました。
（関連記事は2ページに掲載しています。）

目　次

◆ 第14回 病院フェスティバル……2
◆ 着任医師紹介……3
◆ 初めての方は紹介状をご持参ください…3
◆ 病院見学・病院実習……4
◆ インフルエンザに気をつけよう！ ……4
◆ シリーズ チーム医療⑮ ……4
◆ 病院用語ナビ
『出産育児一時金の直接支払制度』 ……5
◆ 院内職場紹介「放射線科」 ……5
◆ シリーズ 助産師② ……5
◆ 第8回 手術体験セミナーのお知らせ……6
◆ 健康レシピ……6

子どもの調剤薬局

健康講座

第14回 病院フェスティバル

公立岩瀬病院フェスティバルは、地域住民の皆様に病院を開放し、病院職員とふれあい、公立岩瀬病院をもっと身近に感じていただくことを目的として開催しております。今年も10月7日（土曜日）に『みんなでつなげる地域の“輪”新しい生命を守り安心して暮らせる健康長寿の街へ』というテーマを掲げ、第14回目となる公立岩瀬病院フェスティバルを開催しました。

健康講座では、座長の三浦院長の進行の下、大谷副院長が「健康長寿を目指すための生活習慣について」、安田産婦人科部長が「日本のお産、福島のお産、岩瀬病院のお産」、土屋副院長が「“がん”についてのお話」をテーマに講演を行いました。

また、外部からの出展としてアクアマリンふくしまから“くらげの展示”やお話、ヨーガセラピー、はたけんぼによる販売コーナーなど、たくさんのイベントにご協力いただきました。

院内からの出展としては、健康相談、子どもの調剤薬局、顕微鏡で細菌観察、救急車搭乗体験、内視鏡手術体験コーナー、CT装置の画像データを使った3D画像処理体験、各種医療機器展示、射的、スーパーボールすくい、バザー、アロマセラピーなど、様々なイベントを実施しました。

今年は、産婦人科病棟がオープンし、さらにリレー・フォー・ライフジャパン2017福島（がん患者支援チャリティーイベント）と共同開催となりました。

午後からの開催ではありましたが400人以上の方々にお越しいただきました。ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。

救急車搭乗体験

射的コーナー

着任医師紹介

福 田 冬 馬 （ふくだ とうま）

診 療 科：産科婦人科　専門分野：産婦人科一般
出身大学：自治医科大学(H26年卒)　出身地：福島県西郷村
趣　　味：スキー、スノーボード

地域の開業の先生方へひとこと
通院中の患者様がご妊娠された場合や婦人科疾患を疑う患者様がいらっしゃいましたらご紹介ください。

地域住民の皆さんへひとこと
全ての方に安全な分娩をして頂けるよう、また女性特有の疾患で悩まれている方のお力になれるよう努力いたします。

小 橋 亮一郎 （こばし りょういちろう）

診 療 科：消化器内科　専門分野：内視鏡診療
出身大学：昭和大学(H25年卒)　出身地：福島県須賀川市
資　　格：日本内科学会認定医　趣　味：野球観戦

地域の開業の先生方へひとこと
地元に帰って参りました。地域医療に貢献したいと思います。

地域住民の皆さんへひとこと
地元に帰って参りました。健康診断は毎年受けましょう。

初めての方は紹介状をご持参ください

公立岩瀬病院は、地域の中核病院として急性期医療や高度専門医療、また、救急患者さん等の救急医療の役割を担っている病院です。

◆体の不調を感じたら…◆

まずかかりつけ医を受診し、精密検査や入院など公立岩瀬病院での診療が必要な場合は、かかりつけ医からの紹介状をお持ちになり受診することをお勧めします。

◆紹介状持参のメリット◆

・選定療養費（1,620円）がかかりません。
・事前予約がお取りでき、待ち時間の短縮につながります。
（医療機関からのFAX申込み・ご本人からの電話申込み、どちらも可能です）
・重複した検査を避けることができます。
・病気の経過が正確にわかり、病院での診療が迅速・的確に行うことができます。
※緊急の場合など、一部上記に該当しない方もおられます。

◆かかりつけ医をお探しの方・かかりつけ医をお持ちでない方へ◆

かかりつけ医とは、身近な地域で日常的な診療を行う「開業のお医者さん」のことです。
日ごろの健康管理や、ご家族の健康状態などを把握しているかかりつけ医を持つことは、とても重要です。病気の予防、早期発見・早期治療にもつながります。

公立岩瀬病院では、かかりつけ医を選ぶお手伝いをしています。ご自宅や職場の近所、または訪問診療など、患者さんのご希望をお伺いいたしますので、お気軽に病院スタッフにご相談ください。

病院見学・病院実習

今年度上半期に引き続き、下半期も福島県立医科大学の外科講座・泌尿器科講座から医学生の方々が実習に来ています。

実習では指導医の先生方について外来や手術の見学、補助などをしています。

実習期間は１週間と短い期間ではありますが、来て下さる皆さんにとって充実した実習となるようにしていきたいと思います。また、冬休みや春休みには積極的に病院見学の受入れを行い、１人でも多くの学生さんに当院の魅力をお伝えしていきたいと思います。

今後も当院で初期臨床研修のスタートを切る先生方が増えてくれるよう努力していきたいと思います。

インフルエンザに気をつけよう！

今年も、インフルエンザの時期を迎えました。インフルエンザウイルスは連続した抗原変異が頻繁に起こるので、毎年世界中で流行し、国内では11月末から12月にかけて流行が始まりピークは1月末から2月上旬となっています。インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症であり、一般のカゼとは違い、乳幼児や高齢者では特に重症となりやすい病気です。

インフルエンザの感染は、感染した人が咳をすることで飛沫に含まれるウイルスを別の人が口や鼻から吸い込んでしまう飛沫感染と、感染した人の飛沫や鼻水がドアノブなどに付着しそれを別の人が手で触れ、さらにその手で鼻、口に触れることで粘膜を通じて感染する接触感染があります。インフルエンザを予防するためには、早めの予防接種や手洗いをこまめに行い、咳や鼻水が出るときは必ずマスクを着用するといった咳エチケットを実施します。咳エチケットを心掛けることは、周囲にウイルスをまき散らさない効果があるだけでなく、周りの人を不愉快にさせないためのマナーにもなります。

インフルエンザの感染を広げないために、一人一人がインフルエンザに「かからない」、また、インフルエンザを「うつさない」ための対策をしっかりと行いましょう。

シリーズ チーム医療 ⑮ 「自分の科から見るチーム医療について」

3病棟　柴　田　洋　子

３病棟は小児科と泌尿器科が中心の混合病棟です。小児科はネフローゼなどの慢性疾患や肺炎などの感染症、外科や整形外科の手術など小児に関すること全てが対象となります。

４月から、産科、ＮＩＣＵの開設に伴い生後間もない新生児の入院も増えてきました。泌尿器科も医師が増え、今まで当院では行われていなかった手術も導入され、県内全域からの紹介患者が増えています。より質の高い医療を提供するために、また、退院後も安心して継続した看護が受けられるように他職種と関わりながら学習会やカンファレンスを開催し、学びを深めています。今後も赤ちゃんとご両親からお年寄りまで安心して医療が受けられるよう、チーム全体で取り組んでまいります。

病院用語ナビ

～「出産育児一時金の直接支払制度」とは～

出産にかかる費用は病気と違うため保険が適用されませんが、「出産育児一時金の直接支払制度」を利用すれば窓口負担を大幅に軽減することができます。

「出産育児一時金」は、出産にかかる費用のうち一部を保険者が支給する制度で、子どもを一人出産するごとに42万円支給されます。また、「直接支払制度」を利用することにより、基本的な手続きは医療機関が行いますので手間が少なく、窓口負担は出産費用から42万円を差し引いた額となります。

当院では、できるだけ現金でお支払いいただかなくて済むよう、「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」のご利用を原則としております。詳しくは医事課までお問い合わせください。

部署紹介《放射線科》

放射線科には、診療放射線技師８名（内２名は女性技師）、受付事務１名が在籍しています。当科では、主に放射線を用いた画像検査を中心に、疾患や適応に応じて放射線を使わないMRI検査、また最近では、画像解析装置を用いた３次元画像作成などを行なっております。特にマンモグラフィ検診への意識も高く、撮影認定技師が５名在籍し、撮影機器も第三者機関からの精度が保証されています。また女性技師による撮影希望に添えるよう対応しています。

医療機器の技術進歩は目覚ましく、その恩恵を患者様が受けられるように技師は、日々努力しております。

検査や放射線についての質問やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

シリーズ 助産師 Vol.2

助産師　渡邉美保

外来でのわたしたち助産師の仕事をご紹介します。現在助産師３名が産科外来を担当しています。妊娠中のすごし方やマイナートラブルとのつき合い方、お産のこと、産後の赤ちゃんとの生活について、イメージを持って新しい家族を迎える準備ができるよう個別対応で説明を行っています。

土曜日には隔週で母親学級や両親学級を開催し、安全・安心に出産を乗り切ってもらうためのお手伝いをしています。毎回盛況でお父さん、お母さんの意気込みを感じています。また、産後は毎週月・木曜日の午後にすくすく外来（産後２週間後健診）を開催し、母乳育児やお母さん・赤ちゃんの健康相談行い、退院後の育児不安の軽減に努めています。

毎週金曜日の１ヶ月健診では、お母さんや赤ちゃんとの再会を喜びつつ、その後の生活上の注意や地域での健診について、予防接種の受け方など必要な情報提供に行っています。その他にはおっぱいトラブル時のケアやマッサージ、授乳支援や各種相談をうけています。

外来でのおつきあいは長いような、短いような。気づけばいつのまにか赤ちゃんは大きくなり、お母さんを目で追って様々な表情を見せてくれるようになります。うれしい卒業です。

第8回 手術体験セミナーのお知らせ

当院では2007年から中学生を対象とした「手術体験セミナー」を開催しています。今年度も第8回の手術体験セミナーを下記の日程で開催いたします。

手術室で本物の医療器材に触れ、当院の医師・看護師・医療スタッフから指導を受けながら実際の手技を体験していただきます。地域の生徒さんに、医師をはじめとする医療従事者を目指すきっかけを提供することが目的です。当日須賀川市出身の医学部学生、初期研修医から後輩達へのアドバイスもお願いする予定です。今月、募集を開始いたします。医師、病院に興味のある皆さんの参加を是非お待ちしています。

《日　　時》平成30年2月24日（土曜日）13:00～17:00　※体験開始は13:30からとなります。
《会　　場》公立岩瀬病院 手術室　《参加人数》約20名（地域の中学２年生）
《体験内容》腹腔鏡手術体験、電気メス・超音波メスを用いての切開体験、模擬内臓の自動縫合・吻合器体験、模擬皮膚縫合・模擬血管結紮体験、胃カメラ操作体験、骨折を修復する器具を用いた模擬体験、泌尿器科の手術体験
※４～５名１組になって、模擬手術体験をローテーションします。
※セミナー終了後、全過程を修めたことを記念し、証書を交付します。

健康レシピ

カロリーを気にしながら食べたい方へ
～ 1人分100kcal以内の低カロリーおやつ ～

「マーブル・シフォンケーキ」

一人分　エネルギー/88kcal　蛋白質/3.4g　脂質/5.2g
炭水化物/14.2g　塩分/0g　食物繊維/0.5g

《材　料》シフォン型 20cm(12人分)

小麦粉	90g	ピュアココア	15g
ラカント(低カロリー甘味料)	90g	湯	30g
卵黄	72g（４個分）		
卵白	150g（５個分）	【お好みで】	
サラダ油	30g	ホイップクリーム	
牛乳	90g	いちご、ブルーベリーなどの果物	

作り方

① ココアはお湯によく溶かしておく。
② 卵黄と卵白に分ける。ラカントも半分に分けておく。
③ 卵黄にラカントを2回に分けて入れる。マヨネーズ状になるくらいまで白っぽくなるまでしっかり混ぜる。
④ サラダ油を入れてなじむまでしっかり混ぜる。
⑤ 牛乳を少しずつ入れる。
⑥ ⑤に小麦粉とベーキングパウダーをふるいながら入れ混ぜる。
⑦ 卵白にラカントを3回に分けて入れ、ツノがたつまでしっかり混ぜる。(逆さまにしても落ちないくらい。)
⑧ メレンゲを3回に分けて⑥に入れる。泡が消えないように混ぜる。
⑨ ⑧の生地からお玉1杯くらいを取り出し、溶かしておいたココアに入れゴムベラなどでよく混ぜる。
⑩ ⑨のココア生地を⑧に入れ、ゴムベラで1、2回混ぜる。
⑪ シフォン型に高い位置から流し入れる。最後にトントンして空気を抜く。
⑫ 予熱180℃にしておき、170℃で10分焼き、その後160℃で20分、オーブンで焼く。

1人分100kcal以内の低カロリーのデザートです。ラカントとは砂糖と同じ甘さでカロリー0糖質0の低甘味料です。クリスマスのデザートに作ってみてはいかかでしょうか。

編集・発行　公立岩瀬病院　広報委員会（広報誌発行部会）
〒962-8503 福島県須賀川市北町20番地
Tel 0248-75-3111　Fax 0248-73-2417　E-mail koho@iwase-hp.jp